

オキッ未来へ!

山口で、広島で、北九州で。地元スポーツ
チームを持つ地域とともに歩む熱い
情熱は、私どもY M F Gの想いと同じ
です。健やかなスポーツ魂が根づく
地域のスポーツチームの夢を追います。

SHOOT!! 広島



アスリートの街に はばたく紫の翼

スポーツや芸術で活気溢れるまちづくりを、という想いで「特定非営利活動法人 広島横川スポーツ・カルチャークラブ」の第一弾プロジェクトとして誕生しました。2012年に発足、この春より新監督を迎え、さらなる飛躍を目指しています。



アンジュヴィオレ広島

〒733-0011
広島県広島市西区横川町3-1-18
横川商店街ビルA棟内
☎082-521-5789

FIGHT!! 北九州



「見る・する・支える！」

北九州から

女性の輝く未来を！

市民サッカークラブ「New Wave北九州レディース」が所属する「特定非営利活動法人 北九州フットボールクラブ」は、北九州におけるサッカー競技と地域に根ざす総合型スポーツクラブとして、市民の「見る、する、支える」を合い言葉に、青少年の健全育成ならびに地域の活性化を理念としています。



New Wave北九州
レディース

〒800-0113

福岡県北九州市門司区新門司北2-6-2

新門司体育施設内

☎093-481-3718

GOAL!! 山口

「志」、今から

山口の未来へ！

「renovation(維新)」の頭文字レノと「fight(戦う)」や「fine(元気)」のファを合わせて「RENOFA YAMAGUCHI FC(レノファ山口FC)」。歴史に名を残した山口県の先人たちのように、日本のサッカー界にもその名を刻んでほしいと願い命名されたチームです。



レノファ山口FC

〒753-0067

山口県山口市赤妻町3-5

☎083-941-6792



山口県民の夢と未来をのせて

「全員サッカー」で
J3昇格後、
わずか1年で優勝。
今シーズンから
J2の舞台へ!



レノファ
山口FC
— 山口県 —

攻撃的なパスサッカーで 県民を魅了! 維新に吹き荒れる新風

とにかく全員でボールを繋ぎ、失敗を恐れることなく、常に得点を狙うというプレースタイルがサポーターの心を掴んでいる「レノファ山口FC」。現在、山口県で唯一のプロスポーツチームの活躍が、地域と県民の生活に彩りを与えつつあります。そんな躍動感あふれるチームをゲームキャプテンとして引っ張るのが島屋八徳選手。

「選手が気持ち良くプレーできるように、チームで一番声を出し、ミスをした選手にはフォローするということを徹底しています」。チームで一番走る「ゲームキャプテン」はこう続けます。「これでも一応、スタメンの中では最



走って、走って、走り抜く!これがレノファ山口FCの真骨頂!

年長です(笑)。レノファには上手い選手が沢山いるので、自分とはにかく運動量でチームに貢献したいと。選手が懸命に走っている姿を見せることで、お客さんにもレノファのサッカーは楽しいと思っただけです」。

その想いを反映するように、維新百年記念公園で行われるホームゲームには、山口県内外から多くのサポーターが詰めかけます。

今開幕戦の ビッグフラッグに感動! 県民との一体感を味わう



サポーターの期待と熱い思いが込められた開幕戦のビッグフラッグ

「開幕戦、ピッチに入場した直後はサポーターの人数にも感動しましたが、あのビッグフラッグを見た時は奮い立ちましたね。これだけ多くの方の声援や期待を背負って、自

GOAL!!!



「維新の志を胸に、山口県を元気に、そして笑顔にすること」。これがチームの大切な目標

分たちが代表で戦っているんだという気持ちより一層強くしました。まさに、クラブと観客、地元が一体となった理想のかたち。
しかし、地域を盛り上げていくという視点では、レノファ山口FCにも課題があります。「関東や関西の人口が多い都市のチームとは違う色を出していく必要があるでしょう。お手本の長野県・松本山雅FCのように、市民クラブでありながらサポーター・自治体・地元のスポンサー企業が地道に作り上げてきたクラブは、ホームゲームでの地元の

レノファ山口FCを 牽引する ゲームキャプテン!



「未来を担う地元ジュニアが県外の強豪校に流れず、当ユースに残り活躍してくれることも願いのひとつ」と鳥屋八徳ゲームキャプテン

「今シーズンの目標はもちろん、J2優勝とJ1昇格ですが、長い目で見ると、より多くのサポーターや地元企業さんをどんどん巻き込んで、大きな塊にしていきたい。山口県を代表して全国で戦うことで県のPRにもなる。山口県全体をもっと元気にして、たくさんの方を笑顔にすることがチームの大切な目標です」。ムードメーカーの笑顔の裏に熱い維新の志が垣間みえた。

山口県とともに！ レノファの目標とは

声援もすごいですし、それ以上の結束を地域全体から感じます。我々も支えてくださる皆さんのためにも、活躍して地元を盛り上げることが一番の使命です」。

成長著しい、期待のホープに聞く!

Voice 1 | 山口県のサポーターの優しさをひしひと

山口県のサポーターは、ブーイングがありません。常に前を向けとってくれて、サッカーをやりやすくしてくれる。サポーターというより、一緒に戦っている同志という印象です。

Voice 2 | 今、もっとも大切にしていること

ディフェンダーなので、一対一で負けたくない、マッチアップする選手に半歩でも勝つことを心掛けています。その積み重ねがどの相手チームからも嫌がられる選手ということになりますし、それが自分のチームのためにもなり、自分の将来にも繋がります。そのためにも練習の時から誰よりも走り、声を出し、体のケアを行っています。今は基礎となる土台を懸命に作っています。

Voice 3 | 小さな体に秘めた情熱と 上昇志向!

個人的にはあと4年以内にA代表に入ることが目標です。その日が、少しでも早くなるよう一日一日がチャレンジです。チームを早くJ1に引き上げ、その舞台上で試合に出続けることで自分をアピールしたいです。



入団3年目
小池 龍太
さん



広島から翼を 広げはばたいて

天使の名を持つ
個性豊かな選手たち
持ち前の明るさ、地元
の応援を胸に、前向き
大きくはばたく!

アンジュ
ヴィオレ
広島
—広島県—



「内藤監督は、試合中もずっと声を掛けてくれ、的確で分かりやすい指示をくれる」と選手たち。試合中は思い切りボールを追いかける

緑のフィールドに 個性の華咲かせる 紫の天使たち

「アンジュ」はフランス語で天使、「ヴィオレ」はチームカラーの紫。笑顔華やかな彼女たちにはふさわしい名のチームには、16歳から28歳までのサッカーを心から愛する選手たちが所属しています。選手たちは日中の仕事を終えると集合し、17時半から20時まで集中して練習。土曜日は朝から練習し、日曜日は試合で実力を試します。おしゃれが大好きで遊びたい盛りの彼女たちは、汗びっしょりになりながらサッカー漬けの毎日を送っています。これも「サッカーが好きだから」と屈託なく笑います。

チームの特長を尋ねると、監督も選手も異口同音に「明るさ」と答えます。個性あふれる選手たちは自然にひとつに溶け合って、今日も楽しそうにグリーンのピッチでボールを追いかけます。

新監督就任で ますます脚力増強 もっと上へ!

この春には、元サッカー選手の内藤就任監督が就任。鹿島アントラーズ、FC東京、アビスパ福岡などで活躍後、サガン鳥栖やアルビレックス新潟のユースコーチ、九州産業大学サッカー部のヘッドコーチを歴任した、敏腕監督です。選手たちは「新監督になってよく走るようになりました」と言います。試合をフルに走りきれる脚力を培うため、日々走り込みを行います。監督は、「ボールを使いながら走るなど、飽きない工夫をしています。漫然とでなく、考えながら走れるようになって欲しい」。選手たちに、そんな監督の口癖を尋ねると、「結果が出るのは選手のおかげ。負けたら俺のせい」。しかし、「そうは思っていないせん、頑張ります」と武田裕季キャプテン。監督と選手の間が伝えます。



SHIOHARA



「一人ひとりが違う才能を持っているので、丁寧には伸ばして上を目指したい」と話す監督の選手に注がれる真剣な熱い眼差しから、分け隔てない指導への熱い想いが伝わってきます。

ヴィオレに染まれ 増え続ける 幼いサッカー女子

常に前向きに明るく取り組む姿勢は、監督も評価するチームの魅力



子供サッカーのチームとも普段から交流している。きっとここからも、未来のチームメイトが誕生するはず

もともとスポーツの盛んな広島。横川商店街を中心とした地元の人々が、単身赴任の監督や、他県から入団した選手たちに部屋を格安で提供したり、選手を社員として雇用したり、他にも様々なサポートをしてくださるそうです。

試合のない日曜日は、選手自ら地域の祭りやイベントでチームをPR。その甲斐あってかサッカーを志す少女も増えていきます。「自分自身、サッカーを通し多くの経験をさせてもらったから、今後は広島のため、日本のため、女子サッカーのために還元したい」と話す頼もしい内藤監督の下、アンジュヴィオレ広島は、これからその紫の翼を大きく広げ、ますますスポーツの街を盛り上げられるでしょう。

活き活きたプレイと、人としての成長を。

街の方々には、いつも大変お世話になっています。ご厚意に甘えながら、子供向けのスクールやイベントでのサッカー教室など、時間の許す限り指導を行っています。女子を指導するのは初めてですが、すべてを犠牲にしてサッカーに賭けている。その真剣さを結果につなげたい。それが街への最大の恩返しだと思っています。



勝利はもちろんですが、選手たちの個性も活かしたい。サッカーを通して、成長してくれば!

監督
内藤 就行 さん

Voice 1 大好きな地元で プレイできてうれしい。

設立と同時に入団しました。当時は最年少で、周りはみんな大人ばかりでした。「人と違って、見ていて面白いプレイ」「ドリブルが取りにくい」と言われるのは嬉しいですが、キャプテンには「まだ自分の活かし方が分かっていない」と言われるので、そこが課題です。

ミッドフィールダー
葛馬 史奈 さん



おしゃれもしたい。ネイルアートが好きで、サロン通いは欠かせません

Voice 2 たくさんの“お母さん”に、 支えられて。

なでしこリーグ1部から来ました。ここには街中に“お母さん”がいっぱいいて、食事に招いてくださったり、遠征の時ににおにぎりをいただいたり、いつも感謝しています。応援してくださるから頑張れます。期待を裏切らないように、精一杯やりたいです。

キャプテン
武田 裕季 さん



キャプテンとして、明るく元気なメンバーを公私にわたり指導します

北九州唯一の 女子サッカー クラブチーム

中学生以上は
社会人と同じチーム。
この年齢ポードレスで
闘う土俵がチームの
底力の秘密です。



New Wave
北九州
レディース
— 福岡県 —

「負けず嫌い」が牽引 20年という 女子チームの歴史

「選手は、みんな負けず嫌いですね」。そう言って笑うNew Wave北九州レディースの井上修監督。当チームには、中学生以下のU・15と大学生・社会人が所属するトップチームがあり、文字どおり、中学生より上の女子部員は「大人」たちに混じってボールを蹴るのです。「私の中学校時代の恩師がチーム発足のきっかけです。北九州市内の中学校に女子サッカー部がなく、たとえ女子が男子の部に入っても体力的に差が出てしまう。ならばいっそのこと女子チームを作りたい。そう言われて手伝いはじめたのがこのチームのはじまりでした」と、井上監督。そ



男子と違い、女子チームには細かい年代別カテゴリ分け(中学生・高校生・大学・成年など)がない!あらゆる年代層がチームメートだ

それは1996年、20年前のことだそう。
当初は11人ぎりぎり、試合相手さえも市内にはいませんでした。男子小学生のチームと練習試合をしたり、福岡や熊本、大分の女子チームに試合を請い、頻繁に遠征していたほど。当時はまだ「北九ガールズ」というチーム名で活動、保護者主体でチームの運営を行っていたに過ぎなかったのです。



電車やバスで集まり、週に5回練習や試合を行う

「北九州なでこっけ」 大きく成長する ガールからレディーへ

北九ガールズからNew Wave北九州レディースとなり、練習環境が少し改善されたのは、2004年のことです。それ

FIGHT



上: トップチームのメンバー 下: まだあどけなさが残るU-15

でも当時はまだサッカーをやるという女子は少なく、人数集めは苦勞の連続。学校行事で練習に参加できないといった理由で、指導者4人に選手3人という苦しい日々もあったと言います。しかし、2016年現在、所属部員は42名を数え、中学生だけでも26名が在籍するチームへと成長しました。その成長の秘密を尋ねると、「負けず嫌いの子が多いと、他県の指導者の方からも言われているくら

い。技術はもう少しのところもありますが、負けん気だけはこのチームよりも強い。とにかく気持ちで向かっていく、そういうチームです。10年、20年という時間をかけて、負けず嫌い“なサッカー少女たちが、勇猛果敢なレディースチームに育っています。北九州で唯一のクラブチームであるNew Wave 北九州レディース、これからの活躍に期待が高まります。

町ぐるみの応援を得て、日々奔走!

チームの念願を叶えるため、北九州市の認可や町ぐるみの応援を得て、ホームグラウンド整備やスポンサー集めなどリーグ加入要件をクリアするために日々奔走しています。<なでしこチャレンジリーグ>に向けては、まずチーム力をつけること。昨年、九州リーグで3位になったので、ここ2年くらいでチーム力はついてきていると思います。期待してください。



中学までU-15でプレイしたあと高校・大学時に離れ、再度、社会人で戻ってくる選手もいるんですよ!

監督 井上 修 さん

Voice 1 同チームの先輩たちがお手本!

一番うれしかったことは、中学一年生の時に全国大会(大阪)に出場できたことです。そこで全国大会のレベルの高さを感じ、その課題をチームで乗り越えられるよう努力しました。同チームにはたくさんの、大学生・社会人の憧れの選手がいて、日々近づけるように頑張っています。

U-15キャプテン 八田 七海 さん

サッカー少年の兄の影響で小学校2年生からサッカーのとりこに!



Voice 2 ママ・プレイヤー健在!

目標は、一つひとつの試合を大事に勝ちあがって<なでしこチャレンジリーグ>に上がることです。最近では、今年6歳になる娘も応援してくれて、家族の理解がよりうれしく感じます。子どもを産んでも長く続けていける生涯サッカー人生のママ友も増やしていきたいですね。

トップチームキャプテン 中島 弥華 さん

チーム発足以来、20年ずっとこのチームでプレイしています

